

「生徒が輝く日本一の小規模校」を目指して
自立した社会人の基盤づくり～「夢」・「規律」・「感謝」～



平成26年度矢板市立泉中学校だより【第15号】

中学「し、ずみ」

発行/平成26年11月27日(木)

学力向上3点セットの実施

学力向上に向け、一昨年の第2学期から45分授業を導入し他校より3コマ増やして32コマとし、「国・数・英各1コマ増」の授業を行ってきました。

さらに、今年度の第2学期の定期テストからは以下の「**学力向上3点セット**」を試行し、これまで以上に学力向上に向けた取組の強化を図っています。

これにより、「何を勉強していいかわからない」がなくなりました。御家庭でも以下のような声かけをよろしくお願ひします。

- (1) **教科書の徹底マスター** → 「教科書読んでる?」「教科書を読んでる声が聞こえるね!」
基礎学力向上のためには、何と云ってもまず「教科書がすらすら読め」なければ次に進めません。そこで、授業でもできるだけ教科書の音読を取り入れるようにしています。また、定期テストに読みの問題等を意図的に取り入れ、生徒の教科書音読の支援に努めています。
- (2) **問題集の徹底マスター** → 「問題集全部に〇ついた?」「〇が3つついてる。がんばってるね!」
テストの点数を上げるには、問題集の完全マスターが効果的。そこで、問題集の問題を3回正解するまで繰り返すことを推進し始めました。正解したら〇印をつける→3つつくまで繰り返す。
- (3) **定期テストの徹底マスター** → 「テストの問題全部解ける?」「再テストの勉強がんばってるね!」
ア 定期テストの再テスト実施
テストの成績を上げるコツは、「間違った問題は必ずできるようにしておく」ことです。そこで、定期テストをやりっ放しにせず1週間後に問題量を半分にした再テストを実施します。
イ 定期テストの出題の工夫
教科書・問題集の徹底マスターを強化するため下記を標準としました。

ねらい	配点	出題方法	解説
教科書がすらすら読める	20	教科書語句読み20題	○教科書中の語句の読み仮名→本文14問、解説等6問 ○英語は単語の意味、S=主語可 ○数学は公式穴埋め等も含む
問題集の徹底マスター	70	問題集より	○問題集から出題(数値・選択肢の変更可) ○ABコースの場合は、Aを多くする
思考力・判断力・表現力	10	発展的な問題	○学習指導要領の範囲を超えた問題は出さない。 ○過去の入試問題可→再テスト

第7回校内長距離走大会の結果

3年生が引退し、今回より1・2年生による校内長距離走大会となりました。女子の部で1年生の小川さんが3位に入るなど新しい力の台頭が見られ、今後に期待のもてる大会となりました。

◆H26 第7回校内長距離走大会入賞者一覧 11月17日(月)実施 ○自己新 △自己タイ

	男子 3,000m(ロードコース)			女子 2,000m(ロードコース)		
大会記録	2014.1.31	村上和寿	9分41秒	2014.9.22	森戸聖実	7分50秒
1位	2年	村上和寿	9分54秒	2年	山口凜奈	7分55秒
2位	2年	関谷佑樹	10分30秒	2年	佐藤璃和	○8分01秒
3位	2年	竹田綾介	10分53秒	1年	小川ひまり	○8分26秒
4位	2年	松平隆宣	10分54秒	1年	青木花蓮	○8分59秒
5位	2年	平山隼斗	○11分03秒	2年	村上鈴音	○9分08秒
6位	2年	東泉裕輝	11分12秒	2年	室井望亜	9分30秒
7位	2年	伊東拓真	11分39秒	2年	増淵 葉	9分52秒
8位	1年	渡邊拓馬	△11分44秒	1年	鍋木亜海	10分13秒

*前回の学校だよりの「男子の大会記録のタイム」に誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

おめでとう! 各種表彰・合格

- ◆第23回栃木県中学校英語スピーチコンテスト
<2年の部> 優秀賞 小平ニコル *18名参加の中で第2位の成績でした。

学校生活アンケート結果 11月分

学校評価の参考資料として11月に実施した学校生活

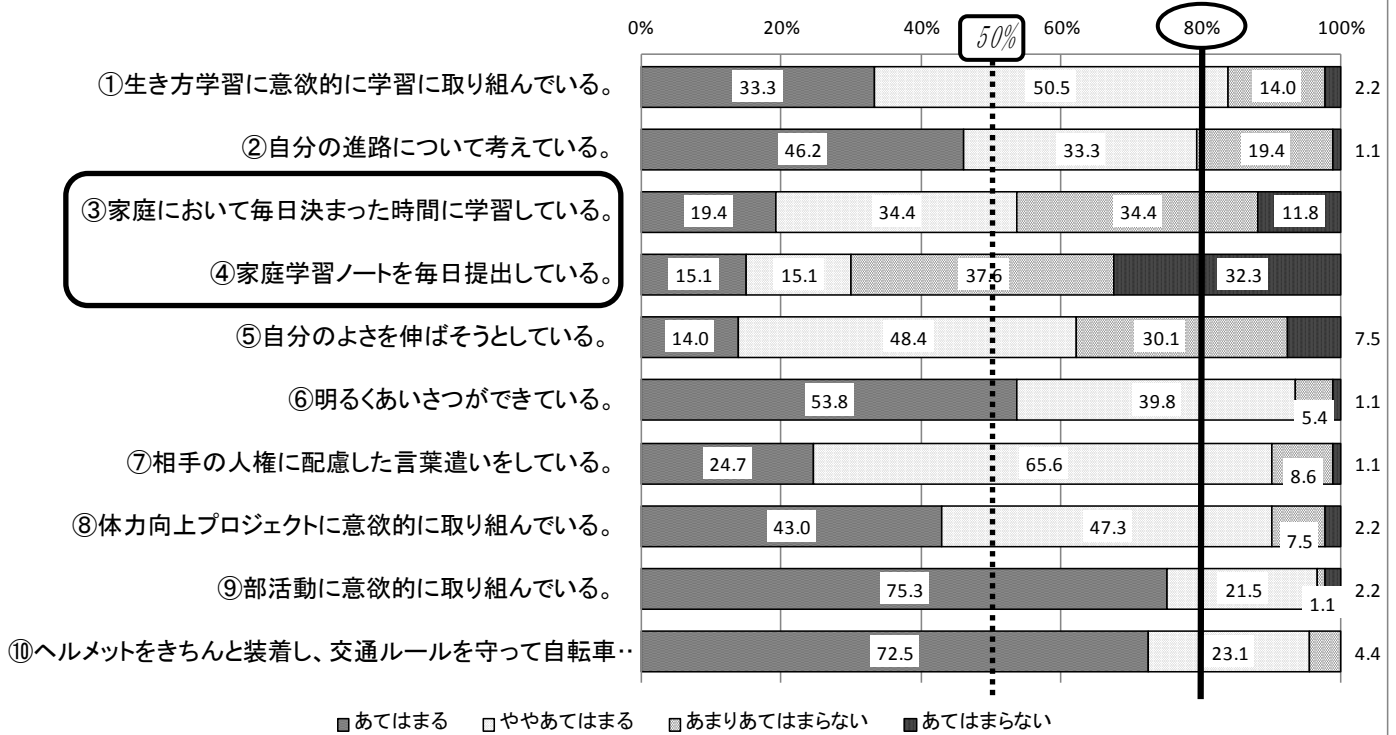
アンケートの結果を紹介します。

肯定的な意見(あてはまる+ややあてはまる)が、80%を超える項目が生徒・保護者ともに6個と全体的によい傾向です。しかし、「家庭での学習」についてはこれまでも低い傾向が見られており指導を重ねてきましたが、今回の結果を受け学校をあげて強化を図ることにしました。

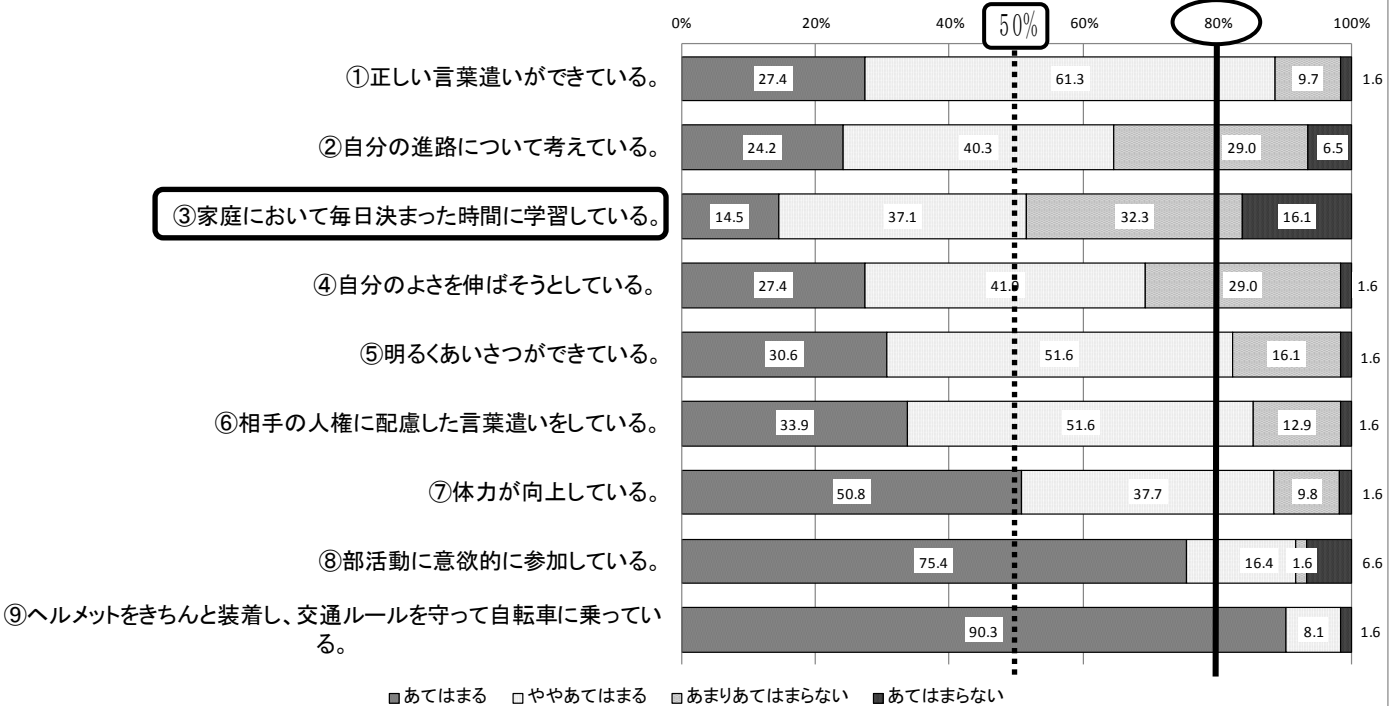
特に以下の3点を具体的に指導する予定です。「人を動かすには、『評価』が不可欠」です。御家庭での「学習を始める時刻の声かけ」と「学習後の賞賛=評価」をよろしくお願ひいたします。

- ①学習「内容」の明確化 …家庭学習の内容の具体化と必要に応じた統一化
- ②学習「時間」の明確化 …家庭学習の最低時間の設定とその徹底
- ③評価を活用した「やる気」の向上…自己評価・他者評価の実践とフィードバック

学校生活アンケート 生徒 N=93



学校生活アンケート 保護者 N=62



道徳・人権コーナー No.6

これまでに、学校での道徳の指導には2種類あること述べてきました。まとめると以下ようになります。

道徳の指導＝①「道徳的実践」の指導＋②「道徳の時間」の指導

→行動化を求めるもの

→内面的資質を養うもの

今回はこの2つの道徳の指導の関係について述べます。

結論を先に言えば、「道徳の時間」の指導が「道徳的実践」の指導の要となるということです。

もう少し細かく言うと、「道徳の時間」が「道徳的実践」を「補充・深化・統合」する役目を果たします。この「補充・深化・統合」は道徳教育を理解する上でとても大切な言葉であり、来年の4月から特別の教科化になるにあたって、これまで以上にキーワードとなっています。

ことばで説明すると以下ようになります。

補充とは、道徳的な押さえが不十分なところを補うこと。

深化とは、主体的な自覚にまで深めること

＝なるほど大切なことだと心の底から承知させること。

統合とは、学習内容・諸価値を関連付けたり構造化したりすること。

また、図にすると右のような感じになります。

